

育成 DC における選考基準 「求める力」

- ① **技術的要素 (Skill)** バスケットボールを行う上での基本的な要素として。
- **ボールハンドリング**
両手で安定してドリブルができる プレッシャー下でもミスが減らせる
 - **パス能力**
正確性、タイミング、判断の速さ 状況に応じたパス選択ができる
 - **シュート能力**
フォームの安定性 ミドル・レイアップ等基礎シュートの再現性
 - **ディフェンス技術**
正しいスタンス 1対1での対応力
- ② **フィジカル要素 (Physical)** 現時点の強さだけでなく、将来性を含めて。
- 身長・腕の長さなどの体格的特徴 走力・俊敏性・ジャンプ力
 - 成長過程（早熟・晩熟を考慮）
- ③ **戦術理解・判断力 (IQ)** 「正解を知っているか」より状況を見て選べるか。
- オフェンスでのスペーシング理解 ディフェンスローテーションへの対応
 - ボールのないところでの動き スクリメージ（実戦形式）での判断
- ④ **メンタル・姿勢 (Mental / Attitude)** 育成方針で特に重視されている要素。
- チャレンジする姿勢 失敗後の切り替え
 - 指示を聞き、理解しようとする態度 周囲と協力できるか
- 「人間力の向上」を育成年代の最優先目標としています。
- ⑤ **将来性・成長の可能性 (Potential)**
- 今後スキルが伸びる余地があるか ポジション適性の幅
 - 専門ポジションに固定されていないか（特にポストプレーばかりのインサイドプレー）
 - 将来的に「個」を高められる可能性（オールラウンドに活躍できる）
- ⑥ **参加姿勢・継続性 (重要)**
- 育成センター活動への**参加意思** 招集ルールを守れるか
 - 欠席理由の妥当性 継続参加が可能か

選考会内容（トライアウト形式）

- フィジカルテスト
- スキルテスト
- スクリメージ（試合形式）

※全てを満たす必要はないが、将来性を重視し、積極的に参加できる選手を募集しています。

<身長における特別枠について>

男子：181cm 以上 女子 171cm 以上の選手は上記の基準にこだわらず選考する。
チーム内の選考人数（4名以内）にカウントしないで推薦してください。